



CS3000 シリーズ

クイック リファレンス ガイド



© 2011 by Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

Motorola の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約（ライセンス プログラム）に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Motorola の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Motorola の書面による許可なしにネットワークで使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Motorola の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Motorola, Inc. の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol、および Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。Microsoft、Windows、および ActiveSync は、Microsoft Corporation の登録商標または商標です。その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。

Motorola Solutions, Inc.

One Motorola Plaza

Holtsville, New York 11742-1300

<http://www.motorolasolutions.com>

保証

Motorola のハードウェア製品の保証については、弊社の Web サイト (<http://www.motorola.com/enterprisemobility/warranty>) を参照してください。

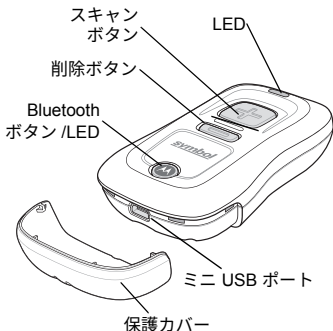
はじめに

CS3000 シリーズ スキャナはさまざまな用途でバーコードを読み取って保存し、USB 接続または Bluetooth を通じてバーコード データをホストに転送します。

このガイドでは、CS3000 シリーズ スキャナの基本的なセットアップ方法、プログラミング方法、および使用方法について説明します。CS3000 シリーズ スキャナには次のモデルがあります。

- CS3000 - USB (バッチ)、0.5GB フラッシュ
- CS3070 - USB (バッチ) および Bluetooth、0.5 GB フラッシュ

各スキャナには USB ホスト ケーブルが付属しています。スキャナを据え付け、充電、およびホストに接続するための充電クレードルもあります。

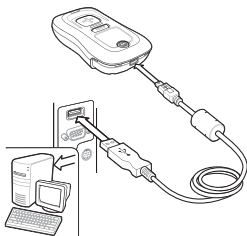


充電

CS3000 シリーズ スキャナを充電するには、USB ホスト ケーブルまたは充電クレードルによってスキャナをホスト PC に接続します。電源は必要ありません。充電時間は、バッテリーが完全に放電している場合、およそ 3 時間です。

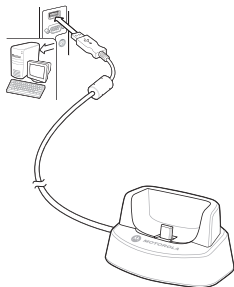
USB ホスト ケーブルによる充電

1. ホスト ケーブルのミニ USB コネクタをスキャナのインタフェース ポートに差し込みます。
2. ホスト ケーブルのもう一方のコネクタをホスト PC の USB ポートに接続します。



充電クレードルによる充電

1. クレードルの USB コネクタをホスト PC の USB ポートに差し込みます。



2. スキャナから保護カバーを取り外します。
3. スキャナをクレードルの上に置きます。このとき、クレードルのミニ USB コネクタをスキャナのインタフェースポートに差し込みます。



ホストへの接続

バッチ接続

USB 経由でスキャナをホスト PC に接続する方法については、[4 ページの「充電」](#)を参照してください。

- ✓ 注 バッチ スキャン モードにするには、スキャナと Bluetooth ホストとのペアリングを解除する必要があります (CS3070 モデルにのみ該当)。

Bluetooth の接続

ペアリング

無線対応スキャナを Bluetooth 対応ホストにペアリングするには、以下の手順に従います。

- ✓ 注 ホストが Bluetooth 通信をサポートしていない場合は、サードパーティ製の Bluetooth アダプタが必要です。
1. スキャン ボタン (+) を押してスキャナをウェイクアップします。
 2. Bluetooth ボタン (Motorola ロゴの付いた丸いボタン) を 5 秒間押し続けます。ピープ音が鳴って Bluetooth ボタンが速く点滅します。これは、スキャナがホストによって検出可能な状態にあることを示します。
 3. ホスト PC でサードパーティ製 Bluetooth ペアリング アプリケーションを起動し、Bluetooth デバイス検出モードにします。

4. 検出されたデバイスの一覧から CS3070 を選択します。Bluetooth アプリケーションによっては、自動的に生成されたパスキーを PIN としてスキャンするよう求められる場合があります。
5. パスキーに対応する **8 ページの「数値バーコード」** をスキャンしてから、**9 ページの「Enter」** をスキャンします。

Bluetooth ボタンの点滅がゆっくりになります。これは、スキャナがホストとペアリングされたことを示します。

- ✓ 注 Bluetooth のペアリングは、USB ケーブルによる充電中には一時的に中断されます。ケーブルを外すと再びペアリングが確立されます。

ペアリングの解除

スキャナとホストのペアリングを解除するには、Bluetooth ボタンを押します。ペアリングを解除すると、Bluetooth ボタンの点滅が停止します。

- ✓ 注 バッチ スキャン モードにするには、スキャナと Bluetooth ホストとのペアリングを解除する必要があります (CS3070 モデルにのみ該当)。

数値バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



Enter

Bluetooth 通信オプション

標準の Bluetooth プロファイルを使用してスキャナとホストの通信をセットアップするには、以下のいずれかのバーコードをスキャンします。

- **シリアル ポート プロファイル (SPP)** - スキャナは Bluetooth 経由でホストに接続し、シリアル接続をエミュレートします。スキャナは Bluetooth ホストから要求された受信接続を受け入れます。
- **Bluetooth キーボード エミュレーション (HID)** - スキャナは Bluetooth 経由でホストに接続し、キーボードをエミュレートします。スキャナは Bluetooth ホストから要求された受信接続を受け入れます。



シリアル ポート プロファイル (SPP)

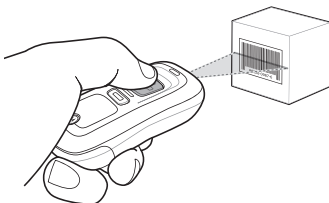


Bluetooth キーボード エミュレーション (HID)

スキャン

バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

1. スキャナをバーコードに向けます。
2. スキャン (+) ボタンを押します。



3. スキャン ラインがシンボルのすべてのバーとスペースを横切るようにします。

正



誤



正しく読み取れた場合は、ピープ音が鳴ってLEDが緑色に点灯します。ピープ音とLEDの定義については、[状態表示](#)を参照してください。

- ✓ 注 USB ホスト ケーブルによってスキャナをホストに接続しているときは、バーコードをスキャンできません。

バーコードの削除

バッチ モードでバーコードを削除するには、スキャナを目的のバーコードに向けて削除 (-) ボタンを押します。

- ✓ 注 Bluetooth モードでバーコードを削除することはできません。

状態表示

機能	ユーザー操作	LED	ビープ音
アイテム バーコード のスキャン	スキャン (+) ボタンを 押す	緑色の点滅 → 緑色の点灯	短い高音
バッテリ 状態	スキャン (+) ボタンを 15 秒間 押し続ける	緑色の点滅: フル充電	なし
		黄色の点滅: 残り動作時間 8 時間未満	
		赤色の点滅: 残り動作時間 1 時間未満	
バーコード の削除	削除 (-) ボタンを 押し続ける (有効な場合)	黄色の点滅 → 黄色の点灯	短い中音
削除 - アイテムが 存在しない		黄色の点滅 → 赤色の点灯	長音 - 短音 - 短音

機能	ユーザー操作	LED	ビープ音
すべてクリア	スキャン時間を超えて3秒間削除(-)ボタンを押し続ける(有効な場合)	黄色の点滅→黄色の点灯	2回の長い中音
すべてクリア(削除とすべてクリアが無効な場合)	削除(-)ボタンを押し続ける	なし	なし
ホストへのUSB接続	スキャナをホストに接続する	黄色の点滅 - 充電中、 緑色の点灯 - 充電済み	低音 - 高音
データ保護の切り替え(有効な場合)	スキャン(+)ボタンと削除(-)ボタンを同時に6秒間押し続ける	なし → 黄色の点灯	短音 - 長音 - 短音
Bluetooth無線が有効(検出可能)	Bluetoothボタンを5秒間押し続ける	青色のLEDが速く点滅	ビープ音
Bluetooth無線がペアリングされている		青色のLEDがゆっくり点滅	短い低音 - 高音
Bluetooth無線がホスト範囲外		青色のLEDが消灯	短い高音 - 低音
Bluetooth無線がホスト範囲内に戻る	任意のボタンを押す	青色のLEDがゆっくり点滅	短い低音 - 高音

バーコード データのホストへの転送

バッチ スキャナからのデータの転送

読み取った (バッチ) バーコード データは、スキャナの **Scanned Barcodes** ディレクトリにある **BarcodeFile.txt** ファイルに保存されます。USB ホスト ケーブルまたは充電クレードルによってスキャナをホスト PC に接続し、Windows エクスプローラを使用してスキャナのディレクトリに移動します。バーコード データ ファイルをホストにコピーします。

- ✓ 注 スキャナでは自動実行機能もサポートされているので、ユーザーが独自に **autorun.inf** ファイルを作成してホストへの接続時に自動的にデータをコピーできます。

バーコード データをクリアするには、スキャナから **BarcodeFile.txt** ファイルを削除するか、『**Product Reference Guide**』に掲載されている**データのクリア** バーコードをスキャンします。

無線スキャナからのデータの転送

スキャナが Bluetooth 経由でホストにペアリングされているときは、バーコードをスキャンするたびにホストにデータが転送されます。スキャナがホストの範囲から外れた場合を除き、データはスキャナに保存されません。スキャナがホストの範囲から外れた場合は、タイムアウト時間内にスキャナとホストが再度ペアリングされない限り、データはバッチファイルに保存されます。このデータはホストに手動でコピーする必要があります。

トラブルシューティング

現象	考えられる解決方法
レーザは照射されるが、 バーコードが読み取れない。	スキャンしようとしている バーコードのタイプを 読み取れるようプログラ ムされているかを確認し ます。
	コードに汚れがないことを 確認します。同じ種類の他 のバーコードをスキャンし ます。
	スキャナをバーコードに近 付けるか、または離します。
スキャナの LED が 数秒間赤色に点灯する。	バッテリーを充電します。 4 ページの「充電」 を参 照してください。
スキャナがフル充電さ れない。	給電されている USB ハブ (5V、500mA 最大) にス キャナが接続されている かを確認します。
Bluetooth LED が消灯 する。	スキャナが範囲外にあ ります。スキャナをホスト に近付けてから、任意の ボタンを押してホストと 再度ペアリングします。
バーコードをスキャン するとき、長いピープ音 が 5 秒間鳴る。	メモリがいっぱいです。 バーコード データをホス トにダウンロードして、 メモリをクリアしてくだ さい。

規制に関する情報

このデバイスは、Symbol Technologies ブランドとして認定されています。Symbol Technologies, Inc. は、Motorola, Inc. (「Motorola」) のエンタープライズ モビリティ ビジネス部門です。

このガイドはモデル番号 CS3070、CS3000 に適用されます。

無線情報は CS3070 のみに適用されます。

Motorola および Symbol のデバイスはすべて、販売地域の法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じてその旨を記載したラベルが貼付されています。

各言語での情報は、弊社の Web サイト

(<http://supportcentral.motorola.com>) でご確認ください。

Motorola および Symbol Technologies の機器に変更または改変を加えた場合、Motorola および Symbol Technologies による明示的な承認がある場合を除き、その機器を操作するお客様の権限が無効になる場合があります。

Bluetooth® 無線テクノロジー

本機は、承認済みの Bluetooth® 製品です。詳細な情報または最終製品の一覧については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.bluetooth.org/tpg/listings.cfm>

無線機器に関する各国の承認

規制に関するマークは、認証を受けることを条件に、使用する無線が、米国、カナダ、ヨーロッパ¹で承認されている機器に付けられています。その他の国のマークについては、Symbol の「適合宣言」(DoC) を参照してください。この文書は、<http://www.motorola.com/doc> から入手できます。

注¹: 2.4GHz または 5GHz 製品の場合、「ヨーロッパ」とは、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリスを指します。



規制準拠の承認を受けていない機器の使用は違法行為となります。

衛生および安全に関する推奨事項



人間工学に基づく推奨事項

注意: 人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生/安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすかなくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

注: 以下のセクションはモバイル コンピュータのみに適用されます。

車両への設置

自動車の電子システム (安全システムなど) が正しく取り付けられていない場合、または十分にシールドされていない場合、RF 信号の影響を受ける場合があります。この点について、車両の製造業者または販売代理店にご確認ください。また、車両に機器を追加設置した場合は、その製造業者にもご確認ください。

エアバッグは勢いよく膨らみます。取り付けられている機器やポータブルの無線機器を含むあらゆる装置を、エアバッグの上またはエアバッグの取り付け領域に設置しないようにしてください。車内用無線機器を適切な場所に設置しないと、エアバッグが膨らんだときに深刻な身体的損傷を負う可能性があります。

装置は、手の届く範囲に設置してください。道路から視線をそらさなくても操作できるようにする必要があります。

注: 公道で電話を受けた時点でクラクションを鳴らしたり、ライトを点滅させる警告装置への接続は、禁止されています。

路上での安全

運転中は、装置に気を取られたり、使用したりしないでください。メモを取ったり、アドレス帳で検索していると、運転上の安全が損なわれます。運転中は、安全運転を第一に考え、運転に集中してください。運転時の無線機器の使用に関する各地域の法律および規制を確認してください。それらの規制に常に従う必要があります。

無線機器業界では、運転中の無線機器/携帯電話の安全使用を呼びかけています。

無線機器の使用上の注意

無線機器の使用に関わるすべての警告文をよくお読みください。

潜在的に危険な環境 - 車両の使用

燃料貯蔵所や化学製品工場、空気中に化学物質や粒子 (種子、ちり、金属粉など) を含む場所、または通常、自動車のエンジンを切るように義務付けられている場所では、無線機器の使用に関する規制に従う必要があります。

航空機内での安全

空港または航空会社のスタッフの指示に従って、無線機器の電源を切ってください。お使いの機器に「フライトモード」などの機能が備わっている場合は、航空会社のスタッフにその旨を説明し、使用可能かどうかを確認してください。

病院内での安全

無線機器は、無線周波エネルギーを送信するため、医療用電子機器に影響を与える可能性があります。

病院、クリニック、または医療施設の指示に従って、無線機器の電源を切ってください。このような指示は、電波の影響を受けやすい医療機器に対する干渉を防ぐためのものです。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、ハンドヘルドの無線機器とペースメーカーを 15cm 以上離すように提言しています。これは、Wireless Technology Research が独自に調査した推奨値とも一致しています。

ペースメーカーの使用者:

- 無線機器の電源が入っている場合は、常に、ペースメーカーから 15cm 以上離してください。
- 無線機器を胸ポケットに入れないでください。
- ペースメーカーの誤作動の可能性を最小限にするため、ペースメーカー植え込み部位と反対側の耳で通話してください。
- 悪影響の可能性がある場合は、必ず無線機器の電源を切ってください。

その他の医療機器

担当医師または医療機器の製造業者に、お使いの無線機器が与える医療機器への悪影響についてご確認ください。



無線周波放射に関するガイドライン

安全性に関する情報

無線周波放射の抑制 - 適切な使用

機器は必ず付属の手順書に従って操作してください。

北米以外

この機器は、無線機器から発生する電磁場に人体がさらされた場合に限り、国際的に認知された標準値を満たしています。電磁場に人体がさらされた場合の「国際的」情報については、Motorola/Symbol の「適合宣言」(DoC) を参照してください。この文書は

<http://www.motorola.com/doc> から入手できます。

EU

ハンドヘルド機器

無線周波放射に関する EU のガイドラインに準拠するため、この機器は、人体から 20cm 以上離れた状態で手で持って使用してください。その他の動作環境での使用は避けてください。

米国およびカナダ

配置場所に関する宣言

FCC の無線周波放射に関する制限に準拠するため、本送信機で使用されているアンテナは、他の送信機またはアンテナと同じ場所に配置したり組み合わせて動作させたりしてはなりません。ただし、本出願で承認されている場合を除きます。

ハンドヘルド機器

無線周波放射に関する FCC のガイドラインに準拠するため、この機器は、人体から 20cm 以上離してた状態で手で持って使用してください。その他の動作環境での使用は避けてください。

レーザ機器



本製品は、21CFR1040.10 および 1040.11 (2007 年 6 月 24 日付けのレーザ通告 50 項の規定を除く) に準拠しています。

EN60825-1: 2007

IEC60825-1 (Ed.2.0)

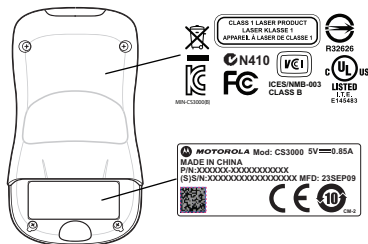
レーザの分類は、機器に貼付されているラベルに記載されています。

Class 1 のレーザ機器は、本来の用途で使用した場合には危険とは見なされません。米国および各国の規制に準拠するため、以下の記述が必要とされています。

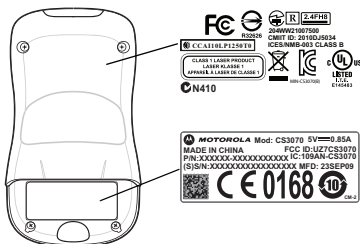
注意: 本書に明記されていない方法で操作部の使用、調整または操作手順を行うと、危険なレーザ光を浴びる可能性があります。

スキャナに貼付されているラベル

CS3000 のラベル



CS3070 のラベル



電源アダプタ

Motorola が認定している電源のみを使用してください。タイプ番号: 50-14000、または PWRS-14000。Class 2 または LPS (SELV, 5Vdc, 0.85mA) とマークされた直接プラグイン電源アダプタです (IEC60950-1)。その他の電源を使用した場合、この機器に対する承認事項はすべて無効になります。また、安全に使用できません。

バッテリー

台湾 - リサイクル



「廃電池請回収」

EPA (Environmental Protection Administration: 行政院環境保護署) は、Waste Disposal Act (廃棄物処理法) の第 15 条において、乾電池の製造業者および輸入業者に対し、販売、景品、またはプロモーション目的で使用する電池にリサイクルマークの表示を義務付けています。バッテリーの正しい廃棄方法については、台湾の正規回収業者にお問い合わせください。

バッテリーに関する情報

Motorola および Symbol の充電式バッテリーパックは、業界内の厳しい基準に適合するように設計・製造されています。

ただし、バッテリーの寿命や保管期間には限界があり、条件によって異なります。バッテリーパックの実際の寿命は、温度や極端な環境条件、激しい落下など、さまざまな要因によって決まります。

バッテリーを6ヵ月以上保管する場合、バッテリーの総合的な品質に修復不能な影響が生じる可能性があります。バッテリーを保管する場合は、容量の低下や金属部品の錆び、液漏れを防ぐため、フル充電の半分ほどの充電量にし、機器から取り外して、乾いた涼しい場所で保管してください。バッテリーを1年以上保管する場合は、1年に1回以上充電レベルを確認し、フル充電の半分まで充電してください。

駆動時間が極端に短くなった場合は、新品のバッテリーに交換してください。Symbol バッテリーの詳細については、次の Web サイトを参照してください。 <http://mysymbolcare.symbol.com/battery/batbasics1.html>

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。

注: 以下に示す製品の正しい温度範囲を確認してください。

- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +45°C (32°F ~ 113°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を硬い面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れしないでください。

- ・ 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- ・ 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- ・ バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- ・ バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- ・ バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- ・ 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Motorola Enterprise Mobility Support (Motorola エンタープライズ モビリティ サポート) に検査を依頼してください。

無線電波障害に関する要件 - FCC



注: この機器は、FCC 規制第 15 部に定められた Class B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないために規定されたもの

です。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射する可能性があります。また、指示に従わずに設置、および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- ・ 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- ・ 本機器と受信機の距離を離してください。
- ・ 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- ・ 販売店またはテレビ/ラジオの専門技術者に相談してください。

ラジオ トランスミッター (第 15 部)

この機器は、FCC 規制第 15 部に準拠しています。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています: (1) この機器は有害な干渉を発生させません。(2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。

無線電波干渉についての要件 - カナダ

この Class B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ラジオ トランスミッター

この機器は、Industry Canada の RSS 210 に準拠しています。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています: (1) この機器は有害な干渉を発生させません。(2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。

ラベル表示: 無線に関する承認事項に「IC:」と表記されている場合、Industry Canada の技術仕様にのみ適合していることを示します。

マークと欧州経済地域 (EEA)

EEA 地域で Bluetooth® 無線テクノロジーを使用する場合、次の制限があります。

- 最大無線送信電力 100 mW EIRP、周波数範囲 2.400 ~ 2.4835 GHz
- フランス: 屋外での使用制限 10 mW EIRP
- イタリア: 屋外での使用は免許が必要

CS3070 無線機器の準拠の宣言

Motorola/Symbol は、この機器が 1999/5/EC で要求されている条件と関連するその他の規定に準拠していることを宣言します。「適合宣言」は、<http://www.motorola.com/doc> から入手できます。

CS3000 の準拠の宣言

Motorola/Symbol は、このデバイスが、該当するすべての指示項目 (2004/108/EC、2006/95/EC) に準拠していることを、本文書により宣言します。「適合宣言」文書は、<http://www.motorola.com/doc> から入手できます。

日本 (VCCI) - 電波障害自主規制協議会

Class B 情報処理装置

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

This is a Class B product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference from Information Technology Equipment (VCCI). If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

Class B 情報技術装置に関する警告 (韓国)

기종별	사용자안내문
B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Class B (家庭用のブロードキャスト通信デバイス):
本機器は、主に家庭環境で使用するために EMC 登録を受けており (Class B)、すべての地域で使用できます。

その他の国

ブラジル

CS3070 の規制宣言 - BRAZIL

注: CS3070 に適用される認証マークは、放射線制限機器用です。この機器はセカンダリ ベースで動作するものであり、同種の機器など他のユーザーからの有害な干渉から保護されません。また、この機器によりプライマリ ベースで動作するシステムに干渉を起こしてはなりません。詳細については、以下の Web サイトをご覧ください。www.anatel.gov.br

Declarações Regulamentares para CS3070 - Brasil

Nota: "A marca de certificação se aplica ao Transceptor, modelo MC9090. Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Para maiores informações sobre ANATEL consulte o site:
www.anatel.gov.br

チリ

"Este equipo cumple con la Resolución No 403 de 2008, de la Subsecretaría de telecomunicaciones, relativa a radiaciones electromagnéticas."

「この機器は、電磁放射に関連して、電気通信法 Resolution Not 403 of 2008 に準拠しています。」

メキシコ

周波数範囲: 2.450 ~ 2.4835 GHz に制限

台湾

注意!

準拠: 低出力電波無線機器に関する管理規制

12条

DGT より付与された権限なしに、いかなる会社、企業、ユーザーも、承認済みの低出力無線周波数機器に対する、周波数の変更、送信出力の強化、性能の変更は許可されません。

14条

低出力無線周波機器は、航空機のセキュリティに影響を与えてはならず、法的通信の妨げになってはなりません。発覚した場合、ユーザーは直ちに操作を中止し、干渉が発生しなくなるようにするものとします。

上記の法的通信は、電波通信法に従って操作されている無線通信を意味します。

低出力無線周波機器は、法的通信または ISM 電波放射機器の干渉の影響を受けます。

臺灣

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

韓国

2400 ~ 2483.5 MHz、または 5725 ~ 5825 MHz を使用する無線機器には、次の 2 つの注意書きを表示してください。

1. この無線機器は操作中に干渉の影響を受けます。
2. この無線機器は干渉されることがあるため、人々の生命や安全に関連するサービスは提供できません。

당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

당해 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

당해 무선설비 는전파 혼 신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.



電気電子機器の廃棄処理規制 (WEEE)

English: For EU Customers: All products at the end of their life must be returned to Motorola for recycling. For information on how to return product, please go to:
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Български: За клиенти от ЕС: След края на полезния им живот всички продукти трябва да се връщат на Motorola за рециклиране. За информация относно връщането на продукти, моля отидете на адрес:
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Čeština: Pro zákazníky z EU: Všechny produkty je nutné po skončení jejich životnosti vrátit společnosti Symbol k recyklaci. Informace o způsobu vrácení produktu najdete na webové stránce: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Dansk: Til kunder i EU: Alle produkter skal returneres til Motorola til recirkulering, når de er udtjent. Læs oplysningerne om returnering af produkter på:
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Deutsch: Für Kunden innerhalb der EU: Alle Produkte müssen am Ende ihrer Lebensdauer zum Recycling an Motorola zurückgesandt werden. Informationen zur Rücksendung von Produkten finden Sie unter
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Eesti: EL klientidele: kõik tooted tuleb nende eluea lõppedes tagastada taaskasutamise eesmärgil Motorola'ile. Lisainformatsiooni saamiseks toote tagastamise kohta külastage palun aadressi: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Español: Para clientes en la Unión Europea: todos los productos deberán entregarse a Motorola al final de su ciclo de vida para que sean reciclados. Si desea más información sobre cómo devolver un producto, visite:
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Ελληνικά: Για πελάτες στην Ε.Ε.: Όλα τα προϊόντα, στο τέλος της διάρκειας ζωής τους, πρέπει να επιστρέφονται στην Motorola για ανακύκλωση. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με την επιστροφή ενός προϊόντος, επισκεφθείτε τη διεύθυνση <http://www.motorola.com/recycling/weee> στο Διαδίκτυο.

Français : Clients de l'Union Européenne : Tous les produits en fin de cycle de vie doivent être retournés à Motorola pour recyclage. Pour de plus amples informations sur le retour de produits, consultez : <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Italiano: per i clienti dell'UE: tutti i prodotti che sono giunti al termine del rispettivo ciclo di vita devono essere restituiti a Motorola al fine di consentirne il riciclaggio. Per informazioni sulle modalità di restituzione, visitare il seguente sito Web:
<http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Latviešu: ES klientiem: visi produkti pēc to kalpošanas mūža beigām ir jānogādā atpakaļ Motorola otrreizējai pārstrādei. Lai iegūtu informāciju par produktu nogādāšanu Motorola, lūdzu, skatiet: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Lietuvių: ES vartotojams: visi gaminiai, pasibaigus jų eksploatacijos laikui, turi būti grąžinti utilizuoti į kompaniją „Motorola“. Daugiau informacijos, kaip grąžinti gaminį, rasite: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Magyar: Az EU-ban vásárlóknak: Minden tönkrement terméket a Motorola vállalatához kell eljuttatni újrahasznosítás céljából. A termék visszajuttatásának módjával kapcsolatos tudnivalókért látogasson el a <http://www.motorola.com/recycling/weee> weboldalra.

Malti: Għal klijenti fl-EU: il-prodotti kollha li jkunu waslu fl-aħhar tal-hajja ta' l-użu tagħhom, iridu jiġu rritornati għand Motorola għar-riċiklaġġ. Għal aktar taġġirif dwar kif għandek tirritorna l-prodott, jekk jogħġbok żur: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Nederlands: Voor klanten in de EU: alle producten dienen aan het einde van hun levensduur naar Motorola te worden teruggezonden voor recycling. Raadpleeg <http://www.motorola.com/recycling/weee> voor meer informatie over het terugzenden van producten.

Polski: Klienci z obszaru Unii Europejskiej: Produkty wycofane z eksploatacji należy zwrócić do firmy Motorola w celu ich utylizacji. Informacje na temat zwrotu produktów znajdują się na stronie internetowej <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Português: Para clientes da UE: todos os produtos no fim de vida devem ser devolvidos à Motorola para reciclagem. Para obter informações sobre como devolver o produto, visite: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Românesc: Pentru clienții din UE: Toate produsele, la sfârșitul duratei lor de funcționare, trebuie returnate la Motorola pentru reciclare. Pentru informații despre returnarea produsului, accesați: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Slovenski: Za kupce v EU: vsi izdelki se morajo po poteku življenjske dobe vrniti podjetju Motorola za reciklažo. Za informacije o vračilu izdelka obiščite: <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Suomi: Asiakkaita Euroopan unionin alueella: Kaikki tuotteet on palautettava kierrätettäväksi Motorola-yhtiöön, kun tuotetta ei enää käytetä. Lisätietoja tuotteen palauttamisesta on osoitteessa <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Svenska: För kunder inom EU: Alla produkter som uppnått sin livslängd måste returneras till Motorola för återvinning. Information om hur du returnerar produkten finns på <http://www.motorola.com/recycling/weee>.

Türkçe: AB Müşterileri için: Kullanım süresi dolan tüm ürünler geri dönüştürme için Motorola'ya iade edilmelidir. Ürünlerin nasıl iade edileceği hakkında bilgi için lütfen şu adresi ziyaret edin: <http://www.motorola.com/recycling/weee>

サービスに関する情報

本機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合は、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、次のサイトへ問い合わせをします。

<http://supportcentral.motorola.com>

このガイドの最新版については、弊社 Web サイト (<http://supportcentral.motorola.com>) でご確認ください。



MOTOROLA

Motorola Solutions, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
1-800-927-9626
<http://www.motorolasolutions.com>

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、許可を得たうえで使用しています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。© 2011 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



72E-136598-01JA 改訂版 C - 2011 年 8 月